

令和元年度（2019年度）第3回八王子市男女共同参画施策推進会議 会議録(要旨)

日時 令和元年（2019年）10月4日(金) 午後6時～午後7時30分

場所 八王子市男女共同参画センター

出席者

江原 由美子	糸井 義明	細江 祐子
清水 弘美	島崎 誠	石川 茂子
北山 信子	伊藤 セツ	

欠席者 …野崎 忠行、中野 英一

出席職員

市民活動推進部長	小峰 修司	男女共同参画課長	中野 みどり
----------	-------	----------	--------

事務局

村山 好美	佐宗 政明	神谷 義孝
馬場 奈那子		

公開・非公開の別 「全ての議題について公開」

傍聴人の人数 0人

資料

【事前配付資料】

重点課題1～6「★」付けと評価理由の確認、めざす姿1・2・3の「★」付けと評価理由及びめざす姿ごとの5か年の振り返りと今後の展開について

【当日配付資料】

- (1) 次第
- (2) 男女共同参画課主催 講演会チラシ

次 第

1 開 会

2 市民活動推進部長挨拶

3 議事

(1) 重点課題1～6「★」付けと評価理由の確認、めざす姿1・2・3の「★」付けと評価理由及びめざす姿ごとの5か年の振返りと今後の展開について

(2) その他 ○ 次回、会議開催日について

4 閉 会

議 事

(1) 重点課題1～6「★」付けと評価理由の確認、めざす姿1・2・3の「★」付けと評価理由及びめざす姿ごとの5か年の振返りと今後の展開について

【参加者からの意見等】

① めざす姿1について (資料p1～p4)

参加者・・・施策(1)の最後の黒点について、前半と後半の文章がつながっていないため、以下のとおり修正してほしい。

(修正案)

「人権尊重に重点をおいた道德教育を行っていくことは、子どもたちに対して男女共同参画の意識を高めることや、いじめ防止に繋がる。また、授業時間以外の学校生活においても子どもの人権や個性を尊重する特別活動を各学校でしっかり行ってほしい。」

参加者・・・施策(2)の3つ目の黒点について、周知方法を工夫するということを言いたいのであれば、「今後も開催日だけでなく」は取ってしまってもいいかも。それか、「今後さらに」と言い換えるか。

参加者・・・施策(3)の3つ目の黒点の文章が長い。また、文末は「望まれる」よりも「行ってほしい」や「行っていただきたい」という表現がよい。

参加者・・・めざす姿の評価について、重点課題に★が1つでもあるなら、めざす姿に対する★付けは1以上にはならないのではないかと。★2つになると「施策が概ね進行している」ことになってしまう。重点課題でしっかり★付けをしているのに、めざす姿ごとに★付けする意味は何か。

- 参加者・・・DV等の個別の課題についてはきちんと評価されてきている。ただ、男女共同参画の意識についてはなかなか浸透していないのが現状。
- 参加者・・・3段階での★付けは難しい。せめて5段階で評価していくのはどうか。
- 参加者・・・評価方法の見直しをしていく必要がある。数値目標等がもう少し入ってくると良いかも。毎年の変化が反映しやすくなる。
- 参加者・・・5か年の振り返りについて、男女共同参画意識の醸成は進んでいるが、男女の平等感の変化はない、という結果をどう見るかの分析がほしい。性別役割分業は賛成ではないが、実際の生活では仕方の無い部分があり、現実には同じような暮らしをしていて、そのために平等感が変わっていないということなのか。現在の文章はただ事実を並べているだけ。意識啓発を行っていけばいいとなっているが、「意識」は変わってきている。「平等感」を変えるためにはどうしていけばいいかを言及する必要がある。
- 参加者・・・町会・自治会はそれぞれで男女共同参画が進んでいるところもあるれば進んでいないところもある。進んでいないところには男女の不平等感が高いのでは。女性の良い意見が出てその意見が広がっていかないという現状もある。どうしてもまだ閉鎖的で男性社会のところもあるため、どうすれば女性が入っていけるか。
- 参加者・・・意識啓発を行っていく以上に、実生活の中での男女共同参画を進めていくことが重要になってくる。若い世代も含めて女性が参加できる環境に変えて、実行力のある組織に整えることが大切。
- 参加者・・・防災の面でも、実際の女性の働きはすごく大切なもの。
- 参加者・・・日本では男女共同参画意識とは別に慣例や慣習での文化がある。当然良いことではないが、男女平等意識が高い・低いという問題ではない部分がある。自治会などでは特に独特の組織文化があるため、意識とは別の問題として考えていかないと。5か年の振り返りのなかに、そのような慣例や慣習も含めて変えていく、という文章を盛り込んでもいいかもしれない。
- 参加者・・・八王子市は地域差も大きいと思う。実際に役員に女性が入っているところも多い。
- 参加者・・・これまでの慣習をも打ち破るような、自治会運営その他も含めて男女共同参画の機運が高まるような工夫をお願いしたい。

② めざす姿2について（資料 p 5～p 8）

参加者・・・施策（6）の2つ目の黒点が少し読みにくいのが気になる。以下のとおり修正した方がいい。

（修正案）

「DV等の加害者からの住民票や戸籍の附票等の交付請求を拒むことで被害者の保護を図る（以下略）」

参加者・・・めざす姿2の〈男女共同参画施策推進会議から出された主な意見〉の4つ目の文章について以下のとおり修正した方がいい。

（修正案）

「SNS等変わりつつあるメディア環境にも対応し、**性被害の**未然防止の観点からより効果的な対策が取れるよう、取組の強化を図ってもらいたい。」

参加者・・・5か年の振返りの文章には、人工中絶やピルの使用についての医療がらみのことが書かれていない。日本は外国に比べて対応が遅れている部分があるため、そこに関して触れた方がいいのでは、と思うが少し規模が大きくて書けないのか。

事務局 ⇒ 自治体規模ではないため、書くことは難しい。

参加者・・・避妊のための選択肢を教えてあげることができる。

参加者・・・十分な知識について周知していく、など「意識」だけではなく「知識」を伝えていくことが必要。

③ めざす姿3について（資料 p 9～p 12）

参加者・・・子育てしながら働くためには保育園は必要不可欠。環境が整っていないと働けない。

事務局 ⇒ 八王子市は保育の待機児童は解消してきている。学童のほうはまだ難しい。

参加者・・・保育費無償化に伴う、従来とは異なる不満や利害についても対応できるようにしてほしい、という意見を盛り込むか。今後年齢による不公平等も出てくる可能性があるのでは、それについて盛り込んでいくか。

参加者・・・ワーク・ライフ・バランスは実際に男女に関係あるのか。「男だから」「女だから」という印象はあまりない。女性が不利な立場にあるのか。

事務局 ⇒ 男性の育児休業や介護休暇の観点から男女共同参画に関係してくる。長時間労働についても女性だけでなく男性も問題になってきている。

参加者・・・長時間労働の根本にあるのは、女性が家事・育児をやってくれるという意識。皆が家事・育児を分担するためには労働時間を短くしていく必要がある。

参加者・・・男性の長時間労働を減らし、その分を家事育児に使用するようにはしていけないと。
そのためには働き方改革を推進していく必要がある。

④ 評価全般について（資料 p13）

参加者・・・★付けの方法は以前よりも楽になったと思う。ある程度評価方法が固まってくると、毎年の評価に変化がなくなってきてしまうので、具体的な数値を入れたり、グラフを入れたりするなど、今後は評価方法についても見直し・検討を行っていくとよい。

参加者・・・事業に対して意見しており、それらが反映される仕組みが望ましい。

参加者・・・意見と施策を比較して、意見したような施策の展開になっているかというチェックができればいいのかもしれない。

参加者・・・同じことをやっても状況は変わらない。前半5年間やってきて、伸びていない部分の原因がそこにあるとするならば見直していく必要がある。

参加者・・・会議での意見が施策に反映されているのかどうか、確認する仕組みは最低限必要と考える。

参加者・・・会議での意見が施策にどのように反映されているかが分かるような仕組みがつけられることを望みます、との記載を盛り込むか。

参加者・・・各所管自己評価は行っていると思うが、この会議で意見したものがきちんと施策として反映されていることがわかりやすいと良い。

参加者・・・意見の活用や、施策への反映について「男女共同参画施策推進会議から出された意見」の中に盛り込んでいただきたい。

（2）その他

次回の会議開催日の連絡 12月20日（金）午後6時～